

練習用使用説明書 おもて(表)

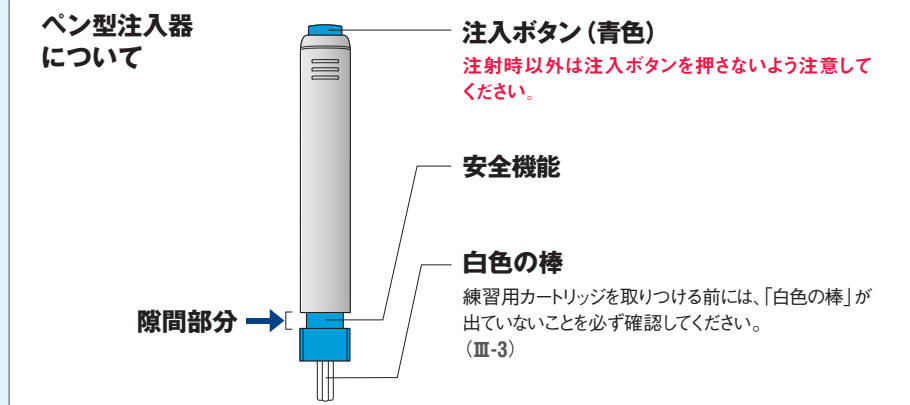
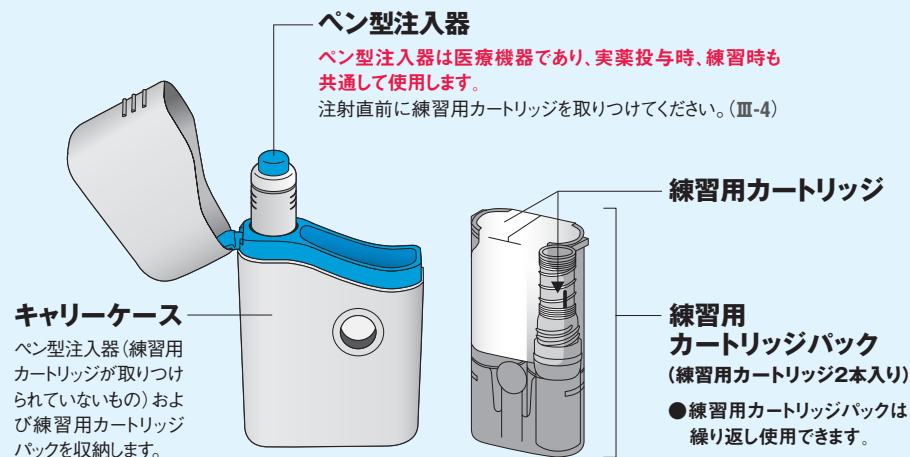


はじめに

- ◆ 練習前に本書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書は大切に保管し、必要ときに取り出して再度読めるようにしてください。
- ◆ 本剤を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ◆ ペン型注入器や練習用カートリッジパックなどを分解、改造しないでください。
- ◆ 誤った操作に起因する事故および故障につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ◆ 使用方法などについて質問がある場合は、医師にお尋ねください。

I. 各部の名称と機能

本剤を正しく使用するため、各部の機能について理解いただくことが大切です。練習開始前には必ずお読みください。



II. 練習用カートリッジパックをキャリアケースにセットする

- キャリアケースのふたを開けて、練習用カートリッジパック(灰色)をセットします。
●薬液入りのカートリッジパック(青色)が入っていないかを確認し、入っていた場合は、練習用のものと入れ替えてください。
●キャリアケースの両側面の穴から練習用カートリッジパックのボタン型ストッパーが見えたら、正しく取り付けられています。
- 練習を行わないときは、キャリアケースのふたは閉めておきます。

III. 注射の準備を覚える(練習用カートリッジの取り付け)

- 注射部位を確認します。
 - キャリアケースのふたを開け、練習用カートリッジパックの使用の方のふたを中央から外側に開けます。
 - 注入ボタンを押さないように注意しながら、キャリアケースからペン型注入器を取り出し、ペン型注入器の下端から「白色の棒」が出ていないことを必ず確認します。
 - 練習用カートリッジパックにペン型注入器をまっすぐ挿入した後、時計回りに止まるまで回します(約半回転)。この操作で、練習用カートリッジが取り付けられます。
- 注射部位(例)
- 太ももの外側
- 注射する部位は医師の指示に従ってください。(裏面参照)
- 「白色の棒」が出ていないことを確認
- 注意
「白色の棒」が出ている場合には、練習用カートリッジを取りつけないでください。
- 「白色の棒」が出ている場合
キャリアケースに戻し、「カチッ」という音がするまで押し込んだ後に取り出し、再度「白色の棒」が出ていないことを確認します。
- 注意
注入ボタンに指をかけたり、注入ボタンを押さないでください。
- 注意
「白色の棒」が出ている場合、練習用カートリッジを取りつけないでください。
- 「白色の棒」が出ている場合
キャリアケースに戻し、「カチッ」という音がするまで押し込んだ後に取り出し、再度「白色の棒」が出ていないことを確認します。
- 注意
注入ボタンに指をかけたり、注入ボタンを押さないでください。
- 注意
ペン型注入器を必要以上に強く回さないでください。ペン型注入器の隙間部分がスライドしなくなるおそれがあります。

IV. 注射の動作を覚える

- 注入ボタンを押さないように注意しながら、練習用カートリッジを取りつけたペン型注入器をまっすぐ引き上げ、取り出します。
 - 注入ボタンから指をはずした状態で、ペン型注入器をしっかりと握り、ペン型注入器の先端を注射部位に垂直に強く押し当てます。
 - ペン型注入器をしっかりと注射部位に押し当て、隙間部分がない状態で「バチン」という音がするまで注入ボタンを押し、そのまま5秒間待ちます。
 - ペン型注入器を注射部位からゆっくり離します。
- 引き上げる際に少し力が必要な場合もあります。
- 注意
注入ボタンを押すときは、ペン型注入器をしっかりと押し当て、隙間部分がないことを確認
- 5秒間待ちます
(ゆっくり5まで数えましょう)
- 練習用カートリッジの先端を確認
- 練習用カートリッジの先端が見えていない場合は、注射は完了していないので、6の操作からもう一度行ってください。

- ペン型注入器をただちに練習用カートリッジパックに戻し、奥までしっかり押し込んだ後に、ペン型注入器から練習済みのカートリッジが外れるまで反時計回りに止まるまで回します。
 - ペン型注入器を練習用カートリッジパックから引き上げ、ふたを閉めます。そのまま、ペン型注入器をキャリアケースに戻し、「カチッ」という音がするまでしっかり押し込みます。
 - キャリアケースのふたは閉めておきます。
- ※実際の練習用カートリッジパックにはシールがついています。
- この資料に関するお問い合わせは
カスタマー・ケア・センター
TEL 0120-561-007
(9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く)
- 症状、使用方法などについて質問がある場合は、医師にお尋ねください。
- gsk** GlaxoSmithKline
グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15 GSKビル
http://glaxosmithkline.co.jp
- IGKT0009-D0801N
作成年月2008年1月(MKT)

自己注射の手技を練習しよう

◆ 前もって、“自己注射”を練習しておくことが大切です

片頭痛は、いつ発作が起こるか予測できない上、一度発作が起こると、日常生活に支障が生じます。いつでも焦らずスムーズに“自己注射”できるようにしておく必要があります。



※実際の練習用カートリッジパックにはシールがついています。

CHECK!

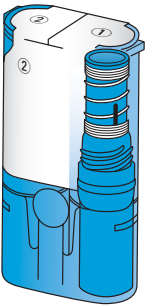
「練習用カートリッジパック」を用いた、“自己注射”トレーニングの流れ

- 1 キットの各部名称と機能を確認する (表面I.)
- 2 練習用カートリッジパックをキャリーケースにセットする (表面II.)
- 3 ペン型注入器に練習用カートリッジを取り付ける (表面III. 1~4)
- 4 注射の動作を覚える (表面IV. 5~7)
- 5 練習用カートリッジを外し、ペン型注入器をキャリーケースに戻す (表面IV. 8~11)
- 6 『記録ノート』内にある「トレーニングチェックシート」の11項目で、手技を再確認 する

頭痛発作時における自己注射の注意点

◆ 頭痛発作時で実際に薬液を自己注射する場合は、“青色”のカートリッジを取りつけてください

自己注射のトレーニング時には“灰色”の練習用カートリッジパックを使用しましたが、この中には薬液は入っておらず、注射針もついておりません。実際の頭痛発作時には、処方された“青色”の薬液入りカートリッジパックを取りつけて、自己注射してください。



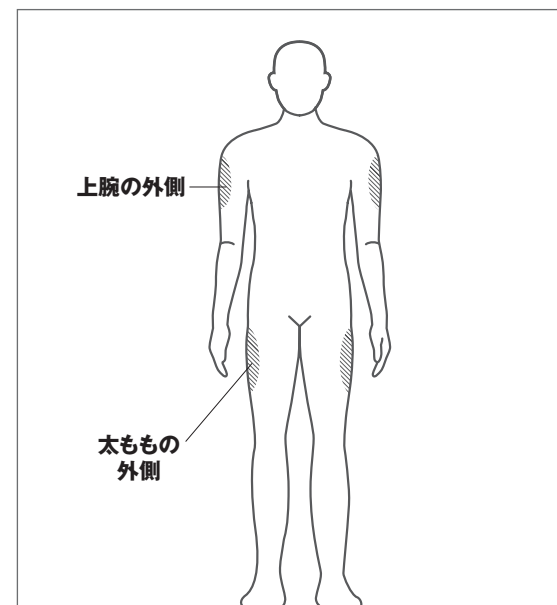
CHECK!

“練習用カートリッジパック”と“薬液入りカートリッジパック”の違い

	練習用カートリッジパック	薬液入りカートリッジパック
外 観	練習用カートリッジ取り付け時	薬液入りカートリッジ取り付け時
本体の色	灰色	青色
薬液・注射針	薬液なし・注射針なし	薬液あり・注射針あり
再利用	練習用のため、何度でも使用可能	再利用不可 (実薬・2回分)

※実際の練習用および薬液入りカートリッジパックのシールとは異なります。

本剤の注射部位例 (斜線の部分)



●注射する部位は、医師の指示に従ってください。

この資料に関するお問い合わせは

カスタマー・ケア・センター

TEL 0120-561-007

(9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く)

●症状、使用方法などについて質問がある場合は、医師にお尋ねください。



グラクソ・スミスクライン株式会社

〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15 GSKビル

http://glaxosmithkline.co.jp